

『自然再生実地研修』のご案内

あなたも、湿原の自然再生の現場体験を通じて、「自然再生技術の向上」や「関係者との技術や情報の交流」を図りませんか？



この度、日置佳之先生（鳥取大学教授）のご協力により、自然再生士及び自然再生士補の皆様を対象として、自然再生の一部を現場で実際に体験できる「**自然再生実地研修**」を下記のとおり開催する事となりました。

なお、本研修は、セブンイレブンジャパンの補助金によって実施されている「津黒高原湿原再生事業」の整備が進む「津黒高原いきものふれあいの里湿地再生地」の一部を借り受けて開催するものです。

自然再生士の学習や研修の場として開放することで、広く世間に地域の自然再生事業を周知するとともに、関係者の自然再生に関わる知識や技術の伝承につなげたいという日置佳之先生、真庭市の強いご意向により真庭市、(一財)日本緑化センター、鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター共催により実現したものです。

是非、皆様のご参加をお待ちしています。

| 開催日程ほか | | |
|----------|---|---|
| 開催日程 | 平成26年9月13日(土)・14日(日)・15日(月)の3日間 | |
| 実施場所 | 岡山県真庭市津黒高原いきものふれあいの里(岡山県真庭市蒜山下和1077) | |
| 参加対象 | 自然再生士ならびに自然再生士補に登録された方の中で、自然再生活動に参加し、自然再生に係る知識や技術の向上意欲の高い方。 | |
| 申込期間 | 平成26年7月1日～8月15日 | |
| 定員 | 20名程度(定員になり次第締め切ります。) | |
| 費用(概算) | ★受講費用等は必要ありませんが、「①宿泊費：鳥取大学蒜山の森宿舎限定2泊3日で1600円程度」、「②食費：宿舎の賄いによる2泊3日夕食、朝食(昼食は別)2400-3400円程度」の実費につきましては、合計4,000～5,000円のほか集合場所までの交通費、3日間の昼食代と乗合乗用車の燃料費(人数割)がかかります。 | |
| 服装 | 実習に適した作業服(着替え)、日よけ帽子、雨具、長靴(地下足袋等)水筒 | |
| プログラムの内容 | | |
| 9/13(土) | 午前 | 11:00 現地到着 → 11:00～13:00 昼食(持参)・オリエンテーション |
| | 午後 | 13:00～14:00 講義 → 14:00～15:00 自然観察 → 15:00～17:00 湿原再生作業① |
| | 夕方 | 18:00～19:00 夕食・交流会 <宿泊：鳥取大学蒜山の森宿舎> |
| 9/14(日) | 午前 | 9:00～12:00 湿原再生作業② → 12:00～13:00 昼食：国民宿舎等 |
| | 午後 | 13:00～17:00 湿原再生作業③ |
| | 夕方 | 18:00～19:00 夕食、<宿泊：鳥取大学蒜山の森宿舎> |
| 9/15(月) | 午前 | 9:00～12:00 湿原再生作業④ → 12:00～13:00 昼食：国民宿舎等→昼食後解散 |

注1. 本研修会は、自然再生士の任意単位、造園CPD認定プログラムとなります(予定)。

注2. プログラムの内容は変更になる場合があります。詳しくは当センターHPをご確認ください。

定員は20名です!!
 申込みはお早めに
 申込み状況はHP(自然再生
 トップページ)に掲載します。

『自然再生実地研修』申込書

- (1) 本研修会は、原則として自然再生士・自然再生士補の資格を有しない方は受講することはできません。また、一日だけの受講もできませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 請求書の要不要について、どちらかにならず〇をつけてください。
- (3) 申込受付後に、「受付完了のお知らせ」を、希望された周知方法(メール、FAX、郵送)でお送りしますので、内容をご確認ください。なお、「受付完了のお知らせ」は、7月下旬頃からの送信・送付を予定しております。
- (4) 集合場所・時間は、現在、JR 姫新線の「中国勝山駅」に10:00集合を予定しています。詳しくは、後日お送りする「受付完了のお知らせ」をご確認ください。
 また、中国勝山駅からの乗合による乗用車の台数に限りがあるため、自家用車での参加も可とします。自家用車の場合、現地(津黒いきものふれあいの里ささゆり館)に9月13日10:45までにおいでください。駐車場は十分にあります。
- (5) 移動に伴う交通手段は、真庭市職員のご厚意により自家用車による移動を予定しております。そのため宿泊地から現場までの交通費の負担(ただし、燃料費については参加者負担をお願いします。)がありません。
- (6) ボランティア保険については、当財団が一括契約により対応させていただきますので、移動時、作業時の負傷等の補償を行います。

※太枠内に必要事項をご記入下さい

| | | | | | | | |
|---------------|---|------|-----------|----|-------------|---|---|
| 資格番号 | 自然再生士・自然再生士補 第()号 | | 申込日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | | | | | |
| 氏名 | | | | | | | |
| 区分 | 勤務先・自宅 | 勤務先名 | | | | | |
| 住所 | 〒 | | | | | | |
| TEL | | | FAX | | | | |
| E-mail | | | | | | | |
| 利用交通機関 | 必ず〇を付けてください。 | | 1. 自家用車利用 | | 2. 公共交通機関利用 | | |
| 緊急連絡先 | ▼団体保険の加入に必要となりますので、必ずご記入ください。 | | | | | | |
| 生年月日 | TEL : | 生年月日 | 昭和・平成 | 年 | 月 | 日 | |
| 受付完了のお知らせ周知方法 | ▼ご希望のお知らせ方法に〇を付けてください。ただし、請求書の送付の必要な方は「3. 郵送」となります。お知らせの周知は、7月中旬頃からの送信・送付を予定しております。 | | | | | | |
| | ① メール(携帯メールは不可) ② FAX ③ 郵送 | | | | | | |
| 請求書の宛名・日付・送付先 | ① 請求書を希望します ② 希望しません | | | | | | |
| | ▼事前に請求書の送付が必要な方のみ、「宛名」、「日付(日時、空欄等)」、「送付先」をご記入ください。 | | | | | | |
| | 宛名 | | | | | | |
| | 日付 | | | | | | |
| | 送付先 | 〒 | | | | | |

【申込先】

住所 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2階
 宛名 (一財)日本緑化センター・自然再生士実地研修係(藤井、野口)
 連絡先 TEL ; 03-3585-3561 FAX ; 03-3582-7714
 E-mail saisei@jpgreen.or.jp

★ご記入後、PDF等で上記メールアドレスまでお送りいただくか、FAXあるいは郵送にて送付ください。なお、不備等がある場合は連絡させていただく場合があります。

津黒高原湿原再生事業計画（概要）

1. 事業概要

事業目的：里山の山間放棄水田において生きもの豊かな（生物多様性が高い）湿原を創出するとともに、一般の人々が生きものとふれあい、環境について学習できる場をつくる。

キーワード：里山、湿原、生物多様性、環境学習

土地所有者：真庭市

事業主体：津黒高原湿原再生協議会（任意団体）

協議会構成員：蒜山ツアーデスク、真庭市環境課、真庭市立津黒いきものふれいの里、岡山県自然保護センター、鳥取大学農学部生態工学研究室

事業期間：2014年2月～2016年3月

事業内容：放棄水田を利用した湿原の創出と環境学習施設の整備

2. 具体的作業（一部）

1) 植生管理：目的；低茎湿生草本群落の形成

- ①ササ及び高茎湿生草本刈取工(ツルヨシ、カサスゲ、ミゾソバ、イバラ類)の刈り取り 1年に複数回実施(6・7月と10・11月)
- ②低木類(イヌツゲ・ミヤマイボタ、ヤブデマリ、タニウツギ)除伐
- ③ハンノキの部分的皆伐
- ④湿原南側のアカマツ・コナラ二次林及びスギ・ヒノキ人工林の皆伐または強間伐
- ⑤湿原外縁部に覆いかぶさっている周辺樹木の除伐

2) 水環境改善：目的；水質の貧栄養化、止水域の造成

- ①湿原外を流れる小川の湿原内への導水
- ②湿原止水域造成(水深・面積などが異なる複数の止水域)
- ③湿原下流部北側の深掘れ水路の埋め戻し
- ④小川内のリターの除去

3) 表土工：目的；高茎草本の根茎除去・埋土種子の発芽促進

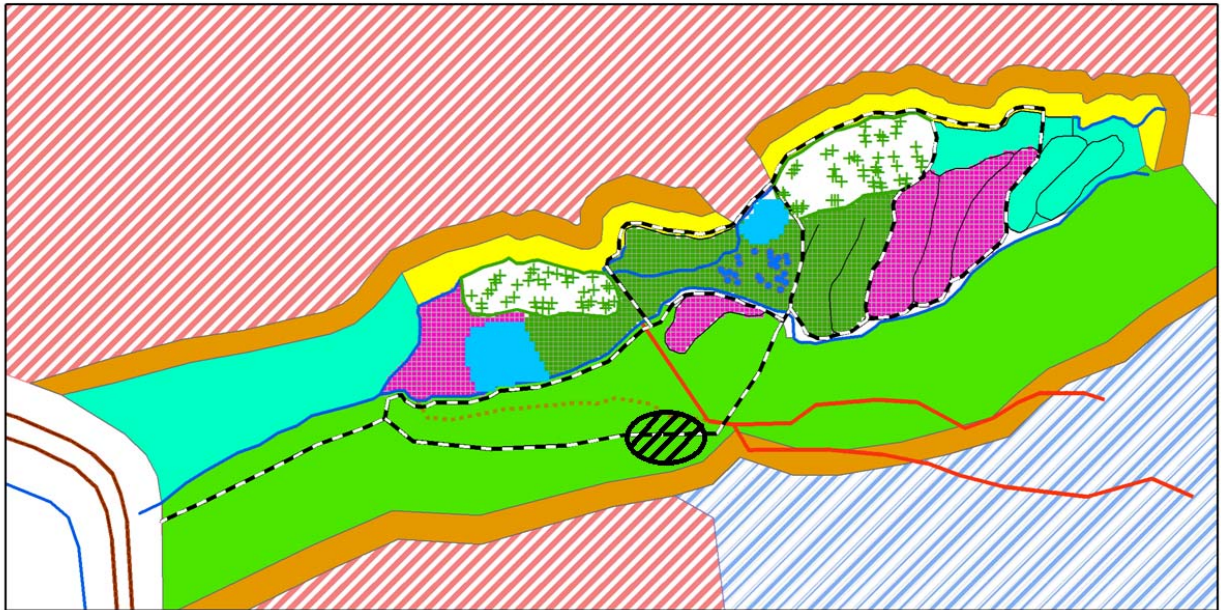
4) 環境学習施設整備：目的；一般利用者等が湿原を散策していきものを観察したり環境学習を行えるよう所要の施設を整備

自然再生工事計画(案)

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 計画準備(丁張り, 搬入路) | ○ | ○ | | | | | ○ | | | |
| 周辺樹林伐採 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 土壌はぎ取り | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ハンノキの一部伐採 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 止水域掘削 | | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| 水路埋め戻し | | | | | | | ○ | ○ | | |
| 水路付け替え | | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| 湿原内のササ・低木刈り取り | ○ | ○ | | | | | ○ | | | |
| ササ除根 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高茎湿生草本刈り取り | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |

湿地再生のゾーンイメージ

30 15 0 30メートル



| | | |
|---|--|---|
| <p>湿原周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ソデ マント 湿性草原 草原 スギ・ヒノキ植林 アカマツ・コナラ二次林 | <p>湿原内</p> <ul style="list-style-type: none"> + ハンノキ 深い止水域 浅い止水域 中～高茎湿生草本群落 低茎湿生草本群落 | <ul style="list-style-type: none"> — 道路縁 — 湿原外新水路 - - 歩道 ⊗ 環境学習広場 |
|---|--|---|

【今回の作業内容(予定)】

湿地再生作業：①樹木伐採作業、②湿地内ハンノキの一部伐採作業、③高茎湿生草本刈り取り作業、④ササの刈り払い・除根、搬出作業。一部、⑤水路の洗掘箇所への補修、⑥土砂堆積箇所の土浚い、⑦河床構造の再生等

